


※注意：このシートは横浜市の  
ホームページ等で公開されます。

No. 6

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）①

フリガナ	オクイ トシユキ		 <p>写真 3.5×4.5cm</p>	
氏名	奥井 利幸			
派遣希望区	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> (                      区)			
支援専門分野（注1）		支援専門分野の内容		
ルール又は プランづくり等	地域まちづくりプラン    地域まちづくりルール 地区計画    建築協定    景観計画    景観協定 まち普請事業 その他地域のまちづくりに関する計画			
市街地開発事業 等	土地区画整理事業    市街地再開発事業			
防災まちづくり 等	○	横浜市の制度を活用した地震火災対策 <span style="border: 1px solid black;">防災マップの作成・活用</span> <span style="border: 1px solid black;">多世代向け防災イベントの企画・運営</span> 密集市街地の改善		
その他 得意とする分野 （複数選択可）	<span style="border: 1px solid black;">地域福祉（高齢者・障がい者・子育て支援等）</span> 防犯    水・緑・環境 歴史・文化・アート    空き家・空き地の利活用    商店街活性化 狭あい道路整備    耐震改修    共同建替 <span style="border: 1px solid black;">コミュニティの再生</span> <span style="border: 1px solid black;">地域の活動拠点運営</span> 地域公共交通 <span style="border: 1px solid black;">ICT・WEBの活用</span> その他（ 多文化共生、多世代共生、インクルーシブ                      ）			
支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野 の内容・支援 可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	インクルーシブなまちづくり	横浜市西区、 東京都江東区/ 豊島区、 海外	2002年—現在	多様な属性の人が共に暮らせるまちづくりを推進。障害者、高齢者、外国ルーツの人々も含めて、当事者のエンパワメントを重視し、地域コミュニティで誰もが参加できる包摂型の場づくりやワークショップの開催を実践。また、現在、タイ、マレーシア韓国などで地域による高齢者ケア支援プロジェクトを実施中。
	多文化共生のまちづくり	横浜市西区、 東京都江東区/ 豊島区/ 目黒区、海外	2019年—現在	タイ・ミャンマーなどアジア各国での協力経験を生かし、地域で勉強会や異文化交流ワークショップを企画。途上国・地域住民・学生が学び合う場を設け、約30回で1,000人が参加。多文化理解を深める仕組みを構築。また、現在タイで外国ルーツの子どもの就学支援と日本との学びあいプロジェクトを実施中。

(注意)

※注意：このシートは横浜市の  
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	インクルーシブ防災	横浜市西区/ 海外	2002年—現在	JICA 専門家としてアジア諸国で高齢者・障害者支援や災害対応に従事。海外/日本でインクルーシブ防災にかかるセミナー講師/ワークショップを実施。2004年スマトラ地震、2011年タイ洪水の際には緊急援助隊コーディネーターとして調整実務を担当し、弱者を含めた防災対応の経験を有す。また、浜松医科大学と共同でインクルーシブ防災の国際比較研究実績あり。
	若者とのまちづくり	横浜市全域/ 日本全域	2016年—現在	まちづくりを学ぶ/興味のある学生による地域コミュニティ調査や提言、学びあいによる地域の活性化活動の実施調整。セミナー/ワークショップ運営。また、「若者×地域」プロジェクトにおいて、コーディネーターとして若者と地域をつなぎ促進する活動を実施。
	地域での認知症サポート	神奈川県湯河原町/海外	2020年—現在	地域住民主体の高齢者ケアや見守り活動を推進。特に、認知症サポーター養成や認知症カフェ普及を行ない、地域で高齢者、認知症の支援ネットワークづくりを実施
	団地再生コーディネーター	横浜市 すすきの団地	2021年	すすきの団地における団地再生のためのワークショップ/発表会の実施支援。
	<p>自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500文字以内）</p> <p>「誰ひとり取り残さない」社会の実現に向けて、多様な主体がつながり、共に学び、共に行動できる場をつくることを心がけております。行政や専門家だけでなく、地域住民、NPO、若者、外国人、高齢者など、背景の異なる人々の声を丁寧にすくい上げ、相互理解を促す「翻訳者」や「橋渡し役」として活動しています。また、課題や対立を乗り越えるためには、一方的な支援ではなく「学び合い」と「共創」の関係を築く姿勢が重要であり、コーディネーター自身が学び続ける当事者であることが不可欠です。加えて、制度や資源をつなげ、地域にあるものを活かしながら、新たな可能性を引き出すプロセスこそが持続可能なまちづくりの鍵であり、コーディネーターはその推進力となる存在になりたいと思っています。</p>			
<p>必要に応じて資料を A4 判 1 ページまで添付できます。</p>				